

● 7月7日（水） 晴 西別岳 道の駅「しほろ温泉」泊

・千葉のおじさんの車とあと2台、計3台が、斜里岳へ登ると言って5時頃出かけていった。私はゆっくり朝食を摂って6時過ぎに西別岳目差して出発した。391号線をフルスピードで南下し弟子屈町へ出て、243号線の養老牛から摩周湖の東岸へ入り込んだ。西別岳登山口への詳しい地図が無いのでナビと感頼り、この辺だろうと決めたところに登山口を指定し、あとはナビ頼りで走ったが、途中から車1台やっと通れるほどで轍が1本だけの、いまにも消えそうな道になり、道が違うのではないかと不安にかられながら、それでもUターンも出来ないので「行けるところまで行ってやれ」と思いながら走った。道がなくなることもなくしばらく行くとパッと広場に飛び出した。片隅に立派な山小屋が建っていて、札幌ナンバーの車が1台止まっている。ここが西別岳の登山口だった。



西別岳登山口は広場になっていて立派な西別小屋が建っている

ヤレヤレあの狭い道で対向車に合わなくて良かった。山小屋に入って見ると青年が2人布団にくるまって寝ていた。私が起こしてしまったようで申し訳なかったが、少し話をした。今日は西別岳へは登らずこれから帰るといふ。

・登山の身支度をして、入山届けに記入し7:15に登り始めた。天気はあまり良くないが雨の心配は無さそうだ。登りはじめは「がまん坂」と云われているらしく、草原の急斜面を延々と登らされた。途中から雲が切れて太陽が顔を出したため暑いこと。サウナ風呂状態の蒸し暑さの中、笹原に真っ直ぐ続く急斜面の道を汗まみれで登ること約1時間、景色が一変しお花畑が現れた。

真っ赤なエゾツツジが一面に咲き乱れ、その中にヨツバシオガマが咲き、ヒオウギアヤメ、イチヨウラン、チシマフウロ、ヤナギも花を咲かせている。別世界に来たようだ。第一、第二お花畑を過ぎるとリスケ山に出て、西別岳が目の前に現れた。



登り始めの急坂「がまん坂」



・西別岳への稜線上に山頂へ続く道が見える。この道にも第三お花畑、極楽平など沢山の花々が咲いていて、実に花が豊富ですばらしい山だ。



極楽平から西別岳山頂へと花の稜線が続く



西別岳山頂・今日も一人

・9時前に西別岳山頂に立った。もちろん山頂には私一人で誰もいない。昨年登ったカムイヌプリは目の前だが霧がかかっている全容が見えない。でもその向こうには摩周湖が見えてすばらしい眺めだ。30分ほど山頂からの眺めを楽しんで下山した。途中で登ってくる人に3人会ったが、なぜか皆さん単独で一人、団体のいない静かで良い山だ。当麻の駐車場でここを紹介してくれた神戸のおばさんが「クロバナハンショウズルがある」と云っていた。



カムイヌプリと摩周湖が見える

・クロバナハンショウズルをぜひ見たいと思って登りでも探したが見つけていない。もうダメかな、とあきらめて下っていたら、第2お花畑の下で何か見つけてしまった。こんなところにこんなに地味な花が！おまけに数輪しか咲いていない。なぜ見つけたのだろうか私にもわからない。偶然としか言いようが無い。とにかく写真を撮った！西別岳までわざわざ登りに来た価値が十分にあった。満足感いっぱい11時前に登山口へ帰ってきた。それにしても暑い！



見つけたぞ！クロバナハンショウズル

・西別小屋には標茶町役場のかわいい女性がいて、掃除と寝具の交換をしていた。この小屋は標茶町が管理していて無料で使用できるが水場が無い。ここへ入る道を確認したら私の来た道が正解だと言う。大きな車に荷物を積んで私の来たあの細い道を走って行った。「今朝来るとき対向車に会わなくてよかった」とつくづく思った。

・これで今回予定してきた前半の山は西別岳というおまけを付けてほぼ終了した。これから後半は道央と道南を回る事となる。ということで西別岳を後にして道央方面へ向かった。これから先は毎年何回も走っている通り慣れた道だ。摩周温泉から美幌峠、陸別、足寄と走りに走って士幌町へ入ったら日が傾きだしたので、今日の宿は温泉がいい「しほろ温泉」と決めた。



美幌峠から屈斜路湖を眼下に望む

・道の駅「ピア 21 しほろ」でトイレに寄って、10 数キロはなれた道の駅「しほろ温泉」にやっと辿り着いた。やれやれ、と思ったら大切な「スタンプ帳」が見当たらない。

えらいこっちゃ！道の駅「ピア 21 しほろ」のトイレに忘れてきたらしい。すぐ 90 k m/h でぶっ飛ばして道の駅「ピア 21 しほろ」に引き返しトイレに駆け込んだ。心配したとお見当たらない。誰かに持って行かれたな、いままでスタンプを集めてきた努力が全てパーだ。がっかりして車に戻ってふと見ると、シートの陰に落ちていた。なんてこった。でも良かった。ホッとして道の駅「しほろ温泉」に戻った。今日は長距離を走ったうえに往復 20 数 k m も無駄足を踏んだのですっかり疲れた。



やっと道の駅「しほろ温泉」に落ち着いた

・ゆっくりと温泉につかり焼き鳥でビールで乾杯し、途中で買ってきた焼きとうもろこしを食べたら腹がふくれて飯が食えない。もう暗くなったし今日はこれで寝るか。空には雲が出てきた。

*今夜のここの駐車場は見事！ 和歌山、つくば、福岡、三河、沼津、岐阜、柏、愛媛、福山、室蘭ナンバーの車、それに水戸が 2 台、岡山が 2 台と日本中から集まっている。なんだね、これは！

● 7月8日(木) 道中雨、千歳は晴 移動 千歳泊

・夜中に結構雨が降っていたが朝には何とかあかっている。
5時に起床。サンドイッチと牛乳、コーヒーのお決まりの朝食。周りには 20 数台の車が止まっていて、皆昨夜ここ泊まり。すごいね。何をしているのか、まだ皆さん起きている気配が無い。

・さてこれからどうしようか。予定していた暑寒別岳と黄金山はこれから向かう道とはかなり外れるし、天候も思わしくないので、今回は中止して道南の狩場山と大千軒岳を目標とすることに決めた。今日はスタンプを集めながら道南方面へ移動してニセコあたりに泊まろうか。まず最初はすぐ近くの道の駅「うりまく」だが、駅の開館が9時なので今出かけると早すぎる。テレビでも見て時間を潰そうかと思ったら、電気が入らない。この電源はE T Cと共用。E T Cを確認したらこれも電気が入らない。こりゃー大事！原因はシガーソケットが外れかけていた。ラフロードの振動で外れたか？ソケットにしっかり差しなおして、振動でも外れないようにタイバンドでしっかり固定した。これでテレビ、E T Cは無事復活して一安心。さて出かけるか。

・「うりまく」は雨がぱらついていたが、すぐ南にある「鹿追」では雨は無く乾燥していた。



乗馬も出来る道の駅「うりまく」



いつ来ても感じの良い道の駅「しかおい」

・日勝峠は霧と雨、日高は雨は降っていない、日高・夕張間は豪雨に見舞われ夕張に着いたら雨は上がっていた。天候がめまぐるしく変化する。無料の高速道路をぶっ飛ばして千歳へ。千歳は全く雨の気配が無く薄日も差していた。千歳川沿いの公園で昼食をとりゆっくりしているうち移動するのが嫌になり、今日はここの道の駅「ちとせ」に泊まることに決めた。

・まだ昼過ぎで十分時間があるので、久しぶりで「さけの博物館」を見学。千歳川の川底を覗けるのは楽しい。小魚がいっぱい泳いでいる。秋に来て鮭の遡上をぜひ見てみたい。博物館を出て2階に行ったら「無料休憩所」があり、多目的ホールにもなっていて机と電気のコンセントがある。ここでパソコンが出来そうだ。何回も来ているがこんなところがあるのは知らなかった。職員に「ここでパソコンをやってもいいか？」と聞いたら、次長さんが出てきて「一般には使っていないが特に許可します」と、やったね！早速パソコンを持ち込んでメール受信して整理をしてから、古口、三浦、鹿野、吉村/鈴木、各氏にメールを送った。そうこうしているうちに夕方も近くなったので、一番良い場所に車を止めて陣取り夕食の支度に入った。

・雨は降っていないが風があつて涼しいのでジャンパーを着込んで夕食をとった。

ギョーザは湯煎したら旨くできた。